

伝統的工芸品産業振興協会ホームページリニューアル業務委託
仕様書

令和7年1月

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

目次

1. 業務の概要
2. 業務の目的
3. 業務の内容
4. システムの基本要件
5. システムの開発要件
6. ページ移行
7. コンサルティング
8. 研修・マニュアル
9. 運用・保守
10. 納品・検収
11. その他業務遂行上の留意点
12. 提案書等提出・問合せ先

1. 業務の概要

(1) 業務名

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会（以下、当協会または伝産協会と言う）公式ホームページリニューアル業務（以下「本業務」という。）

本業務では、当協会が運営している二つのホームページが対象となる。

① <https://kyokai.kougeihin.jp/>

運営母体である「伝産協会」のサイト（主なターゲット = 業界関係者・法人など）

② <https://kougeihin.jp/>

「伝統工芸 青山スクエア」のサイト（主なターゲット = 一般消費者）

※現在、①と②に分けて運営しているが、この区分については絶対的なものではなく、統合や区分の変更、さらなる分割なども可。よりよい提案を期待する。

(2) 概要

本仕様書は、当協会が導入するホームページ管理システム（以下「CMS」という。）及び関連システムの構築に求める仕様を提示するものである。

(3) 構築期間

構築期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

※公開日から約3か月間は、職員からの問合せ及びCMS設定調整等の初期運用支援期間とする。

(4) 公開日

公開日は、協議の上決定する。ただし、すべての完成を待たずに完成したところから徐々に公開を希望。また、現行のサイトについては応相談。

(5) 現行サイトの状況（令和7年1月現在）

- ① 使用 CMS: WordPress
- ② CMS 管理ページ数: 約 4,500 ページ
- ③ 操作職員数: 約 30 人

2. 業務の目的

(1) 業務の目的

スマートフォンによる閲覧への対応をはじめ、デジタル化の進展に沿った伝統的工芸品情報の充実、産地情報や展示会情報の速やかな情報発信を行うほか、コンテンツ分析、分類構成を見直して、ウェブアクセシビリティ規格に準拠した作成を可能にすることにより利用者にとって見やすいホームページにリニューアルし、伝統的工芸品の魅力を国内外に発信することを目的とする。

(2) 基本理念（目指すホームページ像）

① 伝統的工芸品の価値を伝えるサイト

- 日本の伝統工芸品の魅力を視覚的に発信
- 「青山スクエア」への来場促進
- 伝統マークの普及・価値向上
- 産地の歴史や文化的背景の紹介
- 職人の技と想いの効果的な伝達

② 誰もが使いやすいユニバーサルデザイン

- アクセシビリティ規格への準拠
- 直感的な操作性の実現
- 多言語での情報提供

③ 産業振興に貢献するプラットフォーム

- 産地と消費者をつなぐ情報提供
- 若手職人の育成支援情報
- 産業振興施策の案内
- 将来的な EC サイト開設の対応

(3) 改善すべき課題

① デジタル化への対応

- スマートフォン、タブレット等での閲覧増加への対応
- 高品質な画像・動画コンテンツの効果的な表示
- 多様な画面サイズへの最適化

② 情報アクセシビリティの向上

- 高齢者や障がい者への配慮
- 外国人観光客向けの多言語対応強化
- 情報の検索性向上

③ コンテンツの充実と整理

- 伝統的工芸品の生活用品としての特徴と利便性の発信

- 伝統マークの価値の発信
- 産地の歴史的・社会的・自然的背景等の情報の充実と体系的な整理
- 伝統的工芸品の原材料や制作工程、技術

3. 業務の内容

(1) 基本方針

① 現行サイトの分析と改善

- アクセス解析による利用状況の把握
- 役職員へのヒアリングやワークショップによる課題抽出とイメージの共有
- ユーザーニーズの分析
- 改善点の抽出と対応

② 情報設計の最適化

- コンテンツの体系的な整理
- 効果的なナビゲーション設計
- 検索機能の強化

③ アクセシビリティとユーザビリティの向上

- JIS X 8341-3:2016 レベル AA への準拠
- 多言語対応の実装
- レスポンシブデザインの採用

(2) 業務の範囲

① 現行サイトの調査・分析

② 役職員とのワークショップ開催

③ 新サイトのビジュアルデザイン・設計・開発

④ 青山スクエア（一般消費者向けのサイト）に追加したい、約 3,500 名の伝統工芸士のデータベース構築

⑤ CMS の導入・構築

⑥ コンテンツの移行

⑦ 運用保守体制の確立

(3) 対象サイト

① <https://kyokai.kougeihin.jp/>

運営母体である「伝産協会」のサイト（主なターゲット = 業界関係者・法人など）

② <https://kougeihin.jp/>

「伝統工芸 青山スクエア」のサイト（主なターゲット = 一般消費者）

（４）プロジェクト管理

- ① プロジェクト計画書の作成
- ② プロジェクト責任者の配置
- ③ 定期的な進捗報告の実施

（５）会議の開催・記録

- ① 月１回以上の定例会議の開催
- ② 議事録の作成と共有
- ③ 課題管理表の運用

4. システムの基本要件

（１）基本要件

- ① 24時間365日の安定運用
- ② セキュリティ対策の実装
- ③ バックアップ体制の確保

（２）システム構成

- ① 堅牢なセキュリティ環境を実現する体制（CMSサーバとWebサーバの分離等）
- ② クラウド環境での運用
- ③ 十分な処理能力の確保

（３）セキュリティ対策

- ① SSL/TLS暗号化の導入
- ② 不正アクセス対策の実施
- ③ アクセス権限の適切な管理

5. システムの開発要件

（１）CMS機能

- ① 直感的な操作性の実現

- ② 画像・動画の効果的な管理機能
- ③ 多言語コンテンツの管理機能

(2) 関連システム機能

- ① 高度な検索機能の実装
- ② アクセス解析機能の導入
- ③ SNS 連携機能の実装

(3) サイト構造設計

- ① 効果的な情報分類の実現
- ② ユーザー動線の最適化
- ③ モバイル対応の徹底

6. ページ移行

(1) ページ移行作業

- ① 現行コンテンツの精査
- ② 移行計画の策定
- ③ データ移行の実施

(2) ページ移行後の検証

- ① 移行データの確認
- ② リンク切れチェック
- ③ 表示確認

7. コンサルティング

- (1) サイト構成の最適化提案
- (2) アクセシビリティ向上支援
- (3) コンテンツ制作支援

8. 研修・マニュアル

(1) 研修の実施

- ① CMS 操作研修の実施
- ② アクセシビリティ研修の実施
- ③ コンテンツ作成研修の実施

(2) マニュアルの作成

- ① 操作マニュアルの作成
- ② 運用ガイドラインの作成
- ③ トラブル対応マニュアルの作成

9. 運用・保守

(1) システム保守

- ① 定期的なメンテナンス
- ② セキュリティ更新の実施
- ③ バックアップの管理

(2) 運用支援

- ① ヘルプデスクの設置
- ② 障害対応体制の確保
- ③ 運用相談の受付
- ④ アクセス解析

10. 納品・検収

(1) 納品物

- ① システム一式
- ② 各種ドキュメント
- ③ ソースコード

(2) 納品場所

伝統的工芸品産業振興協会 企画部

(3) 検収

- ① 動作確認テストの実施
- ② セキュリティテストの実施
- ③ 検収後の不具合対応

11. その他業務遂行上の留意点

(1) 機密保護

- ① 情報セキュリティの確保
- ② 個人情報の適切な管理
- ③ 守秘義務の遵守

(2) 再委託

事前承認の必要性と責任範囲の明確化

(3) 契約不適合責任

瑕疵担保責任の範囲と期間

(4) 著作権

成果物の著作権の帰属

(5) 追加提案

改善提案の積極的な実施

(6) 協議

疑義が生じた場合の対応方法

12. 提案書等提出・問合せ先

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 企画部

(担当 池葉・宮本夏)

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-2 2

Phone: 03-6432-9335 (直通)

電子メール：kikaku@kougei.or.jp

スケジュール

- 公募開始：令和7年2月4日（火）
- 提案書提出締切：令和7年2月21日（金）正午
- 委託業者決定：令和7年3月中
- 業務開始：令和7年4月1日（月）